



## 体育館の殺人

青崎有吾／著  
東京創元社(2012年) 本体価格1700円+税

風ヶ丘高校の旧体育館で  
殺人事件が起きた。  
疑われているのは卓球部部长。  
部員の袖乃は、部長の無実を信じ、  
学内一の天才・裏染天馬に  
事件の解明を頼んだ。  
けれど、校内に住んでいるらしいし、  
アニメオタクだし、お金をとるし…。  
部長の無実は明らかになるのか、  
真犯人はわかるのか…。  
いったいどうなっちゃうの？

※第22回鮎川哲也賞受賞

## ホラー&ミステリー

### 魔女は甦る

中山七里／著  
幻冬舎文庫(2013年) 本体価格648円+税

肉片になるまでバラバラにされた  
男性の死体が見つかった。  
どうやらカラスにやられたらしい。  
彼は生前、  
自分は魔女の子孫だと言っていた。  
調べていくうちに明らかになる  
悲惨な過去。  
そして、謎のグローバル企業が開発する  
新薬の、本当の効果とは…？

※2011年刊行の本は、中央・わかぎり・武蔵野台所蔵

